

**カルティエ、3月8日の国際女性デーに先駆け特別セッション
「CARTIER DIALOGUES - WOMEN LIGHTING THE PATH」を開催
女性のエンパワーメントと未来を照らす「光の連鎖」を紡ぐ**



左から スブツニ子!、西村宏堂、藤原紀香、宮田裕章、小島慶子 ※敬称略 (Yuta Kono © Cartier)

2026年3月6日、東京 – カルティエは、3月8日国際女性デーに先駆けフランス大使公邸にて、特別セッション「CARTIER DIALOGUES - WOMEN LIGHTING THE PATH」を開催いたしました。

「ウーマンズ パビリオンから未来へ」

2025大阪・関西万博「ウーマンズ パビリオン in collaboration with Cartier」において、カルティエは、「ともに生き、ともに輝く未来へ」をコンセプトに掲げ、6ヶ月にわたりインスピレーションあふれる対話と記憶に残る瞬間を紡いでまいりました。そこに宿った精神と対話の軌跡は、ひとつのレガシーとして受け継がれ、メゾンは新たなチャプターを刻みます。イベントの冒頭では、カルティエ ジャパン プレジデント&CEO のローラン・フェニウが挨拶に立ち、国籍や世代を超えて、多くの人が集った「ウーマンズ パビリオン」を振り返りながら、ウーマン エンパワーメントは個人の歩みではなく、「ともに」取り組むことが重

要であることを強調し、包括的で公平な社会の実現に向けて生まれたアイデア、育まれたコミュニティ、そして行動へと踏み出す勇気—レガシーを未来へと継承していくことの意義を共有しました。



左からローラン・フェニウ、多賀 淑 (ともに Yuta Kono © Cartier)

「カルティエ ウーマンズ イニシアチブ 20周年」

続いて、カルティエ ウーマンズ イニシアチブ プログラム&アクティベーションズ ディレクターの多賀 淑が登壇しました。社会に前向きな変化をもたらす起業家/チェンジメイカーを支援し、挑戦を後押ししてきた国際プログラム「カルティエ ウーマンズ イニシアチブ」は今年で創設 20 周年という節目を迎えます。国や文化を越えて支え合う、強くしなやかな女性たちの絆を深め、包括的な起業家支援の国際プログラムへと発展してまいりました。その歩みを礎に、新たな対話を育む場として「CARTIER DIALOGUES (カルティエ ダイアログ)」を世界各地で展開することが発表されました。「WOMEN LIGHTING THE PATH」をテーマに、未来を照らし、多様な声をつなぐプラットフォームとして始動します。

「カルティエ ダイアログ - 光をつなぐ対話」



ベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン (Yuta Kono © Cartier)

「カルティエ ダイアログ」は、女性初の就任となるベアトリス・ル・フラペール・デュ・エレン駐日フランス大使による基調講演で幕を開けました。国際女性デーに先立ち、多国間交渉の専門家として要職を歴任した経験から得た学びとともに、ジェンダー平等推進とリーダーシップについて、力強いメッセージを送りました。



左から時計回りに 藤原紀香、スプツニ子！、宮田裕章、西村宏堂 (すべて Yuta Kono © Cartier)

続く第二部のトークセッションには、2025 大阪・関西万博日本館名誉館長を務めた俳優の藤原紀香氏をはじめ、ウーマンズ パビリオンのWA ダイアログに参加したスプツニ子！氏（アーティスト）、西村宏堂氏（僧侶・アーティスト）、宮田裕章氏（慶応義塾大学医学部教授）と分野や立場を超えて活躍する多彩なゲストが登壇。

「WOMEN LIGHTING THE PATH」というテーマにちなみ、ボランティア活動をするなかで誰かとの出会いによって大きな変化や気づきを得たことがあったかという問いに藤原氏は「たとえ1%でも社会の役に立ち、誰かの笑顔につながるのなら、最高なこと！そんな思いを一人ひとりが持てたら、社会はきっと変わっていくはず。」と語りました。また、つながりや共鳴が未来をどう形づくっていくのかという問いに対しては、「光を絶やさないためには、光の裏にある影をみて学び続けることが重要である」（西村氏）、「作品の展示だけでなく、起業し社会実装に入っていたことで、さらに人とのつながりの大切さを実感している」（スプツニ子！氏）とコメント。最後にあなたにとって光とはという問いに対し宮田氏は「光は一人の中に完結するものではない。一人ひとりのなかにある個性のかけらが出会うことで初めて輝く」と述べた。

登壇者たちは、葛藤の先で踏み出した一歩が光となり、共鳴する仲間との出会いが、やがて誰かを照らす声へとつながる「光の連鎖」について、モデレーターの小島慶子氏とともに多角的な視点で掘り下げました。



「WOMEN LIGHTING THE PATH」をテーマとしたイマーシブコンテンツ (Yuta Kono © Cartier)

会場では、学生や女性起業家をはじめとする参加者が、「CARTIER DIALOGUES」に加え、「WOMEN LIGHTING THE PATH」をテーマとしたイマーシブコンテンツも体験しました。誰かの物語に触れ、それを自身の問いへと昇華させる時間は、未来に向けて新たな一歩を踏み出すためのヒントを得る、実りある機会となりました。

「カルティエ ダイアログ」は、女性の変革力と可能性を追求し、対話と行動を促すプラットフォームとして、日本においてアート&カルチャー、ビジネス&テクノロジー、役割とアイデンティティなど、多彩なテーマで継続して展開してまいります。次回は5月に開催を予定しています。

@cartier

@cartierawards

#CartierDialogues

#WomenLightingThePath

#CWI2026

#CartierTokyo

カルティエについて

カルティエは、世界有数のラグジュアリーメゾンとして、開かれた精神と好奇心を常に持ち、独創的なクリエイションを通じて、あらゆるものの中に潜む美を見出し続けてきました。ジュエリーやファインジュエリー、ウォッチメイキングからフレグランス、レザーグッズやアクセサリーに至るまで、多岐にわたるカルティエのクリエイションには、卓越した職人の技と時代を超越するシグネチャーが融合しています。

リシュモングループの一員であるカルティエは、旗艦店をはじめとするブティックや正規代理店、オンラインブティックを国内外で展開しています。

<https://www.cartier.jp/>

読者お問い合わせ先： カルティエ カスタマー サービスセンター 0120-1847-00

プレス関係者お問い合わせ先： カルティエ PR 03-4572-4580